

沼津高専電気電子工学科の就職指導 (2)

望月 孔二*

Career counseling in National Institute of Technology, Numazu College, Department of Electrical and Electronics Engineering (2)

MOCHIZUKI Kouji*

Abstract : This report describes a career counseling in department of electrical and electronics engineering, national institute of technology, Numazu college. The big difference with the last same report is that a student questionnaire was enriched. It is useful for his job hunting that a student sends substantial student life.

Key Words: Career. Counseling

1. はじめに

平成 29 年度の紀要に, 沼津工業高等専門学校電気電子工学科の就職指導について報告した. その 2 年後の今, 現状の就職指導について報告する.

この 2 年間の間に, 変わったことは, 高専採用をしたい会社の顔ぶれである. また, 採用方法も変わり, それについて指導方法も変わっている. さらに, 就職活動に関するアンケート調査も, 調査項目を増やした. 就職しやすい学生の特徴が明確に言えるようになってきた.

2. 就職希望学生数と, 求人企業数と, 就活の概要

表 1 に, クラス人数と就職希望学生数を示す. 例年, 約半数の学生が就職を希望する. なお, 例年冬休み明けに就職希望なのか進学希望なのか希望を提出させて以降の「就職希望から進学希望への変更」やその逆は, クラスに 1 名いるかどうかという状況だったが, 2020 年 4 月入社の学生については, 2 名が進学希望から就職希望に変更した.

表 2 に, 求人の企業数を示す. 高専卒を欲しいと言ってくださる会社は年々増えてきている. しかし 2019 年度入社と, 2020 年度入社の数を比べると, 飽和してきたというようにもみられる. この状態は, 「高専という人材は人気はあるが, 採用の困難さも浸透してきたから」と考える. 求人票を受けたとしても, それは学科の求人票の中の 訳 700 分の 1 であり, ご訪問を受けたとしても, 学科の求人票の中の約 200 分の 1 である. それに対して就職する学生数は 20 人でしかないため, 会社の人事課の方々のご苦労

* 電気電子工学科

(求人活動) と成果 (採用数) を比較したときに冷静な判断をされることが増えてきたのではないだろうか.

3. この2年間の求人企業の傾向

表 2 に示したご訪問の会社数であるが, 社名で確認すると出入りが激しい. 例えば, 2018 から 2019 への, 207 社から 231 社への変化は,

$$231 = (207 - 73) + 97$$

という数式で表せる. すなわち, 207 社のうち 73 社は翌年のご訪問がなく, 二年連続のご挨拶は 134 社であった. 一方, 新規のご挨拶は 97 社であった.

また, 2019 年 4 月入社に向けて, ここ 10 年で初めてご挨拶に来たものの, 2020 年 4 月入社に向けたご挨拶がなかった会社数は 60 社であった. このように「一見さん」が含まれる. ちなみに, 2018 年 4 月だけのご挨拶は 40 社, 更に年度をさかのぼると 26 社, 26 社, 16 社, 16 社, 10 社である.

表 3 には, 「2018 までご挨拶がなかったが, 2019 から二年連続でご挨拶のあった会社」を業種別に示す. これらは, 高専採用を「確実に」増加させた業種であろうと考える.

3. 学生アンケート

紀要に就職指導のことを報告した 2 年前は, 私が行った就職指導においてはじめて学生アンケートを行った年度であった. その年度変化や詳しい分析についてはこれからであった.

アンケートはその後, 項目によっては質問を増やしたり, 別のアンケートを追加するなど, 充実を図っている.

3. 1 準備で力を入れたこと

図1に「準備で力を入れたこと」についての2020年4月入社学生のアンケート結果を示す。

このアンケートは6つの項目(図1下部に示した)の質問に対し、合計を100%にするようそれぞれの比率を記させたものである。2019年度は、「もしももう一度就活をするならば」という質問を追加するとともに、グラフも、合格と、不合格だった時の回答を分けて2つとした。サンプル数が少ないので、比較することにどれだけ意味があるかわからないことを承知の上で比較する。

年度が違っていても、「エントリーシートが最も力を入れたことであり、仕事や会社選びと、面接対策がそれに続く」という似た傾向を示す。一方、年度による変化よりも、「合格者」「不合格者」の傾向の違いのほうが顕著だったので、図1は2020年4月入社学生のみ、合格者と不合格者それぞれのグラフとした。なお、2020年4月入社予定の就職希望学生は20名であり全員が合格になったため、合格者のグラフは20名の情報による。一方、不合格は5名の学生がのべ6件体験した。その6件に関するアンケート結果である。

二つのグラフを比べると、不合格の場合は、自己分析がもともと少なく、また、「もう一度…」に対しては、直前の試験(つまり、EとF)に改善点を求めているのが特徴的である。「もう一度就職活動をするとしたら同業他社と決めているので、業界研究等はこれ以上不要」ということなのだろうか。しかし、逆説的だが、「自己分析をはじめとする前準備を軽視している」のが苦戦の原因という考え方もあると思われる。

3. 2 エントリーシートや面接で触れられた項目

図2にエントリーシートや面接で触れられた項目に冠するアンケート結果を示す。

これも2018年4月入社E5から調査を始めたものである。2018については7項目、2019からは10項目(図2下部に示した)を挙げて、それぞれの合計を100%にするようそれぞれの比率を記させた。2020には、「もしももう一度就活をするならば」という質問の追加した。また、統計方法についても、合格と、不合格だった時の回答を分けてグラフ化した。こちらもサンプル数が少なく、さらに回答項目が増えたため、よりばらつきが大きくなっている。比較することにどれだけ意味があるかわからないことを承知の上である。3年間の結果の中で特に大きな違いがみられるのは2020年4月入社「合格者」と「不合格者」間であるため、古い年度のものはここには記さない。合格者のグラフは20名の情報による。一方、不合格は5名の学生がのべ6件体験したが、そのうちの1件は就職活動に

においてESを求められなかったため、それを除いた5件によるグラフになっている。

合格者の学生と、不合格の学生それぞれの平均像を比較することになるが、まずは「合格者」の学生生活の豊かさに気が付く。おそらく、合格しやすい学生は、学生時代の様々な項目について語れる者ではないかと考える。特に、クラブ活動と、学内のその他の活動(例:高専祭)の差は大きい。

逆に言えば、不合格の学生はそういった「授業以外の集団の活動」について語れる事が少ないという共通項があるのではないかと考える。そうすると結局、集団の活動をアピールできる項目が限られてくる。その一方で、学業についてはエントリーシートに書いた以上に質問されてしまった。これは、学業においても更に説明すべきことがあったからであろう。

3. 3 就職活動に影響したこと

図3に就職活動に影響したことに関するアンケートについて集計結果を示す。

これは今年度からの調査である。一人の学生から1回だけ回収したものなので、合格と不合格を分けていない。

回答の内容は学生別の差が大きく、項目数も多く、この報告書内の3つの図の中でも最もばらつきが大きいものである。例えばインターンシップという項目があるが、正確には「担任の〇〇先生の指導によるインターンシップ」だと考えられる。複数年度の統計情報が得られたとしても、更に注意深く分析することが必要である。そういったばらつきを承知で、全体の傾向を考える。

一年生など低学年で受けたキャリア教育については、学生はわずかな影響とする回答である。しかしこれは、指導を受けてからの時間が長くて忘れてしまったことが原因であり、本来はもう少し強い印象を受けているものと推察する。

最も強い影響があるとの回答は、就職指導教員との面談である。それは私との面談ということである。参考として、私が行っている面談方針を記す。まず前提として考えるのは、学生へのデータ提供である。学科には何百通もの求人票があるし、先輩の体験記など様々な情報があるが、学生がそのすべてに目を通すのは不可能である。そこで、どこに学生が必要とする情報があるか道案内をする。もう一つは同業他社の紹介である。学生が一つの希望先を上げた時、後悔のない選択をするには、同業他社との比較検討が必須と考える。

続いて影響が大きいのは、インターンシップだと言える。また、3月以降に参加した、単独の会社の説明会や工場見学会は、影響が大きい。

さらに、保護者や親せきの意見も影響があることが分かった。

私にとって意外だったのは、学科内の求人情報と同程度かそれ以上、会社のウェブページが影響しているということである。

4. まとめ

二年前の研究報告に続いて、沼津高専電気電子工学科の就職状況を記した。

特に、学生アンケートを充実させたことによって、学生の状況がより明らかになった。

こうして得られた情報は、例えば学生に対して、どのような学生生活を送るべきかといった指針になりうる。次年度以降の就職指導に生かしてゆきたい。

私は今後も就職指導を続ける限り、なるべく学生の願いが叶うべく支援してゆきたいし、体制の改善も続け、企業にて生き生きと働く卒業生を増やし続けたい。

参考資料・文献

- [1] 望月孔二, 「沼津高専電気電子工学科の就職指導」, 沼津工業高等専門学校研究報告 第52巻, pp.17-24
- [2] 統計の数字は、学科の就職活動の結果である。

表1 電気電子工学科5年生の人数と、就職希望学生数

	2020	2019	2018	2017	2016
クラス人数	37	42	33	39	38
進学等	17	19	15	20	25
就職 (1社目合格)	20 (15)	22 (18)	18 (17)	19 (17)	13 (12)

※ 「2020」とは2020.4入社

表2 求人の数

	2020	2019	2018	2017	2016
ご挨拶にご来訪	233	231	207	170	150
求人票の会社数	689	652	577	※	※

※ 統計データはあるが、取り方が異なる

表3 2018までご挨拶がなかったが、2019から二年連続でご挨拶のあった会社を業種別に集計

4社	設備, 工事業
1社	食品
2社	化学
1社	鉄鋼・非鉄金属
1社	金属製品加工
4社	生産用機械器具
4社	測定器 (含医療機器)
2社	電気機械
3社	情報通信機械
1社	自動車
1社	その他製造
1社	情報サービス
1社	不動産 (不動産管理)
2社	研究・技術設計
1社	労働者派遣業

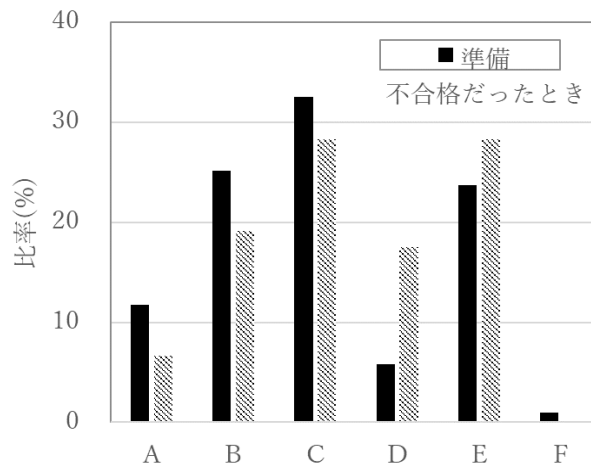
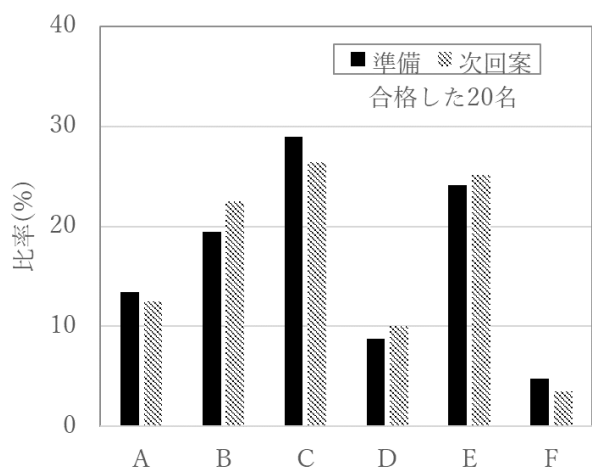


図1 準備で力を入れたこと、2020年4月入社の学年

力を入れたことについて、A~Fの総和が100%になるよう比率を回答

- A 「仕事や会社を選ぶために必要な自己分析」, B 「仕事や会社選び」, C 「会社へのエントリーシート作り」,
- D 「会社への筆記試験や性格診断対策」, E 「会社への面接対策」, F 「その他の対策 (例: 移動方法の調査など)」

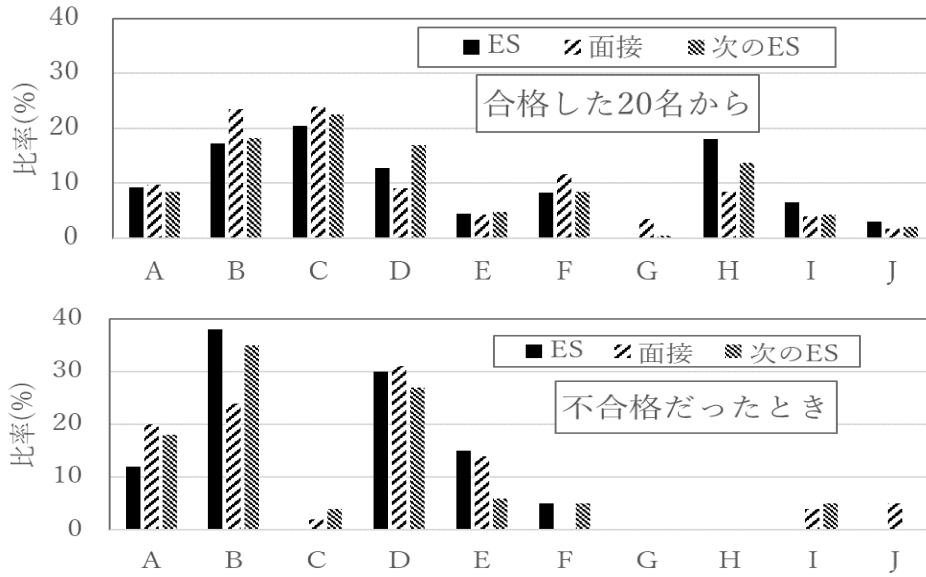


図2 エントリーシートや面接で触れられた項目, 2020年4月入社の学年

- ・エントリーシート(ES) で触れた項目
 - ・面接で触れられた項目
 - ・もし書き直すなら ES で何に触れる
 - ・総和が 100%になるよう比率を回答
- | | |
|----------------|--------------------------|
| A 「学業(主に講義)の事」 | D 「学業(PBL)の事」 |
| B 「寮生活の事」 | E 「学業(学生実験全般)の事」 |
| C 「クラブ活動の事」 | F 「その会社へのインターンシップの記述」 |
| | G 「一般的なインターンシップの記述」 |
| | H 「学校内のその他の活動 (例: 高専祭)」 |
| | I 「アルバイトの記述」 |
| | J 「その他の活動 (例: ボランティアなど)」 |

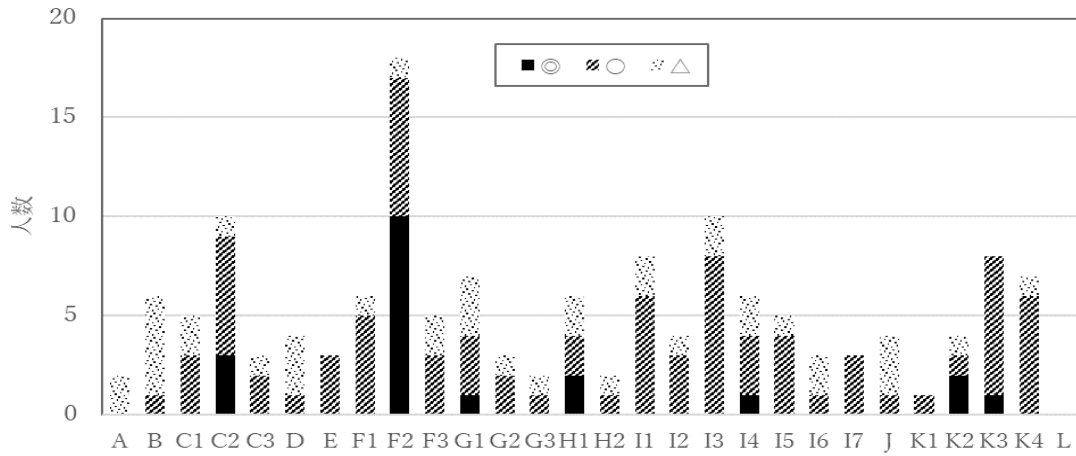


図3 就職活動に影響したこと, 2020年4月入社の学年

- 各項目の回答は「◎, ○, △, 無印」のいずれか。
 無印は、殆ど影響しなかったところ
 △はわずかに影響あったが、○でも◎でも無いところ
 ○は強く該当するところ
 ◎は最も強く該当する1箇所
- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| A 1・2年生のフューチャー静岡 | G2 高専先輩学生からのアドバイス |
| B 3年生冬の インターンシップマッチング会 | G3 高専先輩社会人からのアドバイス |
| C1 4年生春の, インターンシップ先選定 | H1 保護者や親戚からのアドバイス |
| C2 4年生夏の, インターンシップ実施 | H2 その他社会人からのアドバイス (中学教師など) |
| C3 4年生秋の, インターンシップ説明会 | I1 学科のウェブ上にある求人情報 |
| D 4年生秋の, 工場見学旅行 | I2 学科の書棚にある求人情報 |
| E 12月頃の, 卒業生懇談会 | I3 会社のウェブ |
| F1 担任との面談 | I4 マイナビなど求人サイトの情報 |
| F2 就職指導担当との面談 | I5 ウェブ検索 |
| F3 その他沼津高専教員からのアドバイス | I6 TV コマーシャルや看板 (目に入ってきた情報) |
| G1 クラスメイトからのアドバイス | I7 日常的に目にする物品 |
| | J 合同企業説明会 |
| | K1 企業の方の, 学科就職指導担当訪問に同席して |
| | K2 会社説明会 (会場は高専, 教員不在の面談) |
| | K3 会社説明会 (会場は会社とか会社が押さえた場所) |
| | K4 工場見学会, 事務所見学会 |
| | L 上記以外 それは「 」 |